



**乳幼児期は、『生きる力』の基礎を育てる時期です。  
発達や個人差、個性の違いを認める保育を  
目指しています。**

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、緊急事態宣言が発令され、学校も休業の期間を過ごしています。学童の子どもたちと月極保育の子どもたちが混じり合って遊ぶ機会も多くなっています。

自由に遊べる『保育室すまいる』ですが、自由は、放任とは違います。

自由の中には、基本的な「ルール」があります。

自分で考えて活動することは、指示されてしか活動してこない子どもたちには自由がとても不自由に感じます。

自分流儀のやり方で、遊びを進めていると、仲間が自然にその場からいなくなってしまうたり、ゲームが成立しなかったり、注意されたりします。大人に注意されるより友だちに注意される方が身に沁みます。ここに集団で遊ぶことの大切さが潜んでいます。

「今まで、どんな生活をしてきたか。」によって経験知が違います。それによって発達の仕方の違いや個人差、個性がでてきます。それらを認めながら子どもたちの成長を育てているのが、『保育室すまいるの保育』です。

学童の子どもたちも交えて遊ぶことで、家でのルールと社会一般のルールの違いを体験しながら、自分流のやり方を徐々に変えていく機会になることを期待しています。

自己主張し、自分流のやり方を押し通して活動する 2 歳児～3 歳児、そこから脱皮しみんなと一緒に遊ぶことを楽しむ経験が必要な 3 歳児～学童前半、交通整理をしながら活動を進める学童後半、各々の時期に必要な体験ができるように援助していきたいと思っています。

### 《お 知 ら せ》

○新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための策がいろいろ講じられているこの頃です。その情報をもとに、保育を進めていきたいと思っています。その時々に対応になってしまう可能性があります、ご理解の元、ご協力をよろしくお願いいたします。

○気温差が激しい日が続いています。洋服の着脱で体温調整ができるように、着脱しやすい服装でお願いいたします。

基本保育時間は、  
7:30~18:30 です。  
7:00~7:30、  
18:30~19:00  
の利用の場合は、  
お知らせください。

